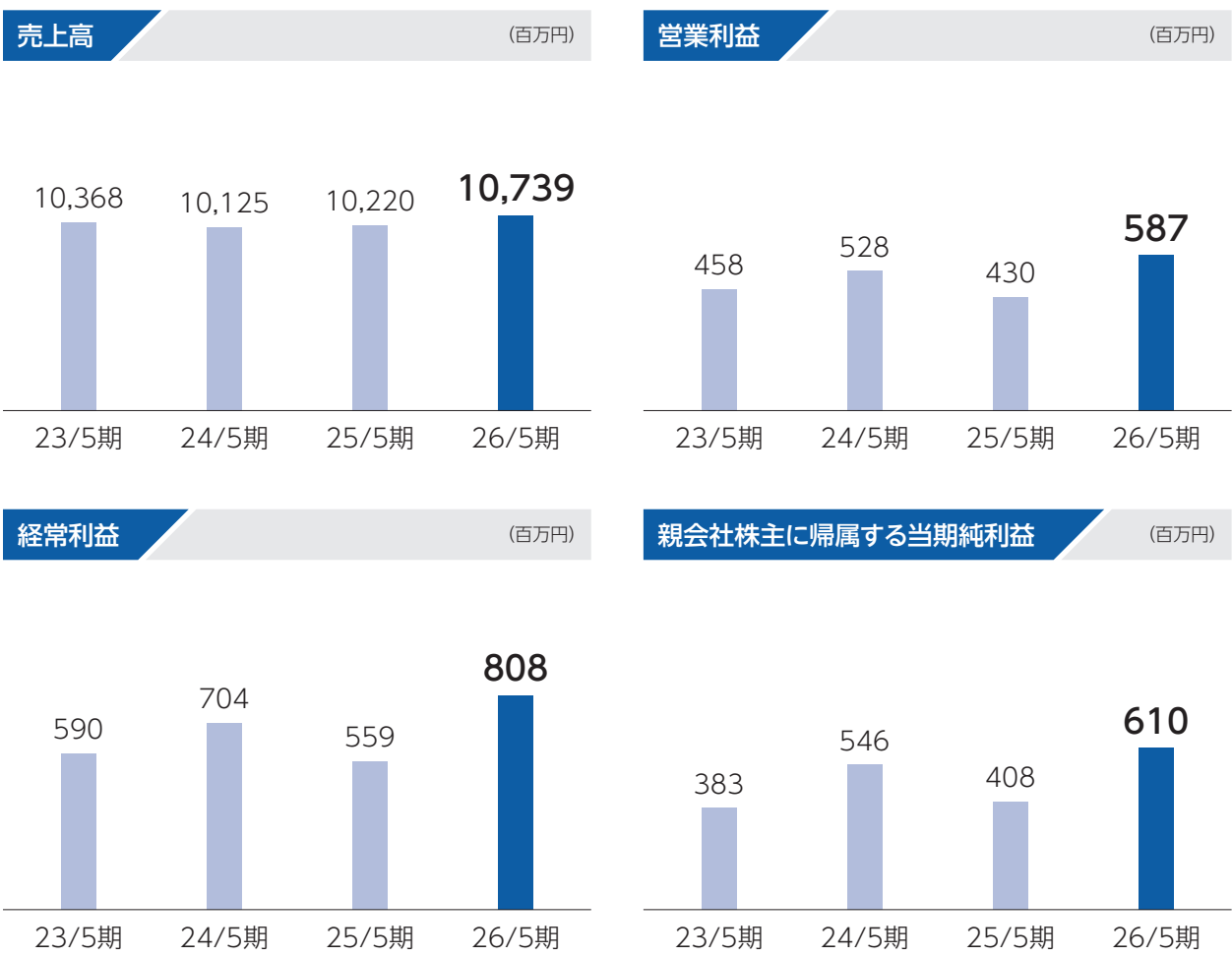


業績ハイライト



国内AI関連需要の取り込みが奏功したことに加え、製薬、海外光学、国内コスメティックおよびウェット製品等の主要分野における需要が拡大したことや中東情勢の影響により資材確保を優先する動きが見られ、前期に比べ増収となりました。また、この売上増加に加え、原価低減や販売価格の適正化等に努めた結果、増益となりました。